

細霧冷房システム利用によるトマト良質苗生産技術の開発

トマトの抑制栽培では、盛夏期に育苗を行うことから苗質が劣化し、生育初期の樹勢低下や初期収量の減少が問題となっています。

このため、苗質の改善を目的に、細霧冷房システムを用いた育苗方法の検討を始めました。細霧冷房を用いるとハウス内温度を3～5℃程度低く維持することができ、草丈で2cm、葉数で2枚程度生育が促進され、高温による苗生育の抑制を防ぐことができました。今後、これらの苗を本ばに定植し、活着の程度や初期生育、初期収量などを調査する予定です。



細霧冷房システムを用いた育苗の状況